

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 4 月 3 日
東京電力株式会社

< 1 . 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (4/3 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.0 m ³ /h	16.6	104.4 kPa abs	A系： 0.02 vol%
		給水系：約 2.3 m ³ /h			B系： 0.01 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m ³ /h	26.0	6.91 kPa g	A系： 0.07 Vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.07 Vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.4 m ³ /h	23.6	0.25 kPa g	A系： 0.09 Vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.07 Vol%

*：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

< 2 . 使用済燃料プールの状況 > (4/3 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	17.0
2号機	循環冷却システム	運転中	16.0
3号機	循環冷却システム	運転中	15.0
4号機	循環冷却システム	運転中	18.3

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウエルヘビドラジンの注入を適宜実施。

< 3 . タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
1号機	1号機 タービン建屋	1号機廃棄物処理建屋	4/2 9:50 ~ 17:00 移送実施
2号機	2号機 タービン建屋	3号機 タービン建屋	3/27 9:49 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物 減容処理建屋[高温焼却炉建屋])	3/12 15:48 ~ 移送実施中

< 4 . 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (4/3 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中	運転中 ^{*1}	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 5 . その他 >

・H26/1/29～ 2号機海水配管トレンチ凍結止水工事における凍結管を設置するための削孔については、掘りあがった温度測定用の孔にカメラを挿入して、トレンチ内部状況を再度、慎重に確認したうえで削孔開始することとしていたが、トレンチ内部の状況が確認できたことから、凍結管を設置するための削孔を実施中。

その後、実施している削孔作業と並行して、3/27より挿入作業ができるようになった孔から順次、凍結管およびパッカー挿入の作業を開始。

4/2 挿入が完了した凍結管について凍結を開始。

- ・H26/3/14 13:35～ 共用プール西側において、凍土遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。
- ・H26/4/2 8:46 頃 南米西部(南緯 19.8 度、西経 70.8 度)でマグニチュード 8.2(推定)の地震が発生。これに伴い、4/3 3:00 に気象庁より福島県沿岸部に「津波注意報」が発令された。発電所海側沿岸部の作業については実施していないことを事前に確認しているが、念のため 3:03 に発電所構内一斉放送にて、高台退避指示を出した。なお、現時点でプラントパラメータ、およびモニタリングポスト指示値に有意な変動は確認されていない。

【H4, H6 エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<トピックス>

- ・H25/12/10～ 汚染水拡散の防止策として、H4エリア周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

<タンクエリアパトロール実績(4/2)>

- ・高線量当量率箇所(β線による70μm線量当量率)は確認されず。
- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(漏えい確認ができない堰内溜まり水内を除く)を確認。
- ・汚染水タンク水位計による常時監視で、タンク水位に異常がないことを確認。

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・1,2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は 4/3 0:00 時点で約 9,563m³ *集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・4/2 に採取した地下水観測孔No.3-5 の全ベータ放射能濃度が 300Bq/L で、前回値(3/26 採取:22Bq/L)と比較して10倍以上に上昇。当該エリア付近の海水の全ベータ放射能濃度については 180Bq/L(3/31 採取)であることから海水の影響によるものかを踏まえ、再サンプリングを実施する予定。その他の測定結果は、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<移送関係>

- ・2,3号機東側に設置したウェルポイント(バキュームによる強制的な排水設備)からの地下水汲み上げおよび2号機タービン建屋への移送を適宜実施中。
- ・H25/12/11～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.0-3-2 でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。
- ・H26/1/29～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.1-16 で高い濃度の全ベータが検出されていることから、当該観測孔近傍に設置した地下水汲み上げ用の孔(No.1-16(P))からの地下水の汲み上げを適宜実施中。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

- ・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- ・H25/10/3～ 地下貯水槽 No.1 の汚染範囲調査開始。

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上